



## わたむきの里作業所・わらべ保育園 共同田植え体験

6月7日(月)、わたむきの里作業所の利用者さんとわらべ保育園、第2わらべ保育園の5歳児の園児が共同で田植えをされました。

この活動は、お米について学ぶ「食育」や、土に触れて泥だらけになって自然に親しむ「ゼロ体験」、作業所で働く障がい者と共同で作業を行い、障がいのある方への理解促進を目的に企画されたものです。

園児達は、裸足で田んぼに入り、作業所の利用者さんから手渡された苗を泥だらけになりながら楽しそうに植えていました。

秋には、共同で稲刈りを行い、収穫したお米を園の給食で味わおうそうです。

お米大好き



## 近江鉄道主催 ガチャコンまつり

### 2021 in 東近江市

6月19日(土)、八日市駅および本町商店街をメイン会場としてガチャコンまつりが開催され、鉄道グッズの販売や、鉄道模型の操作体験などが行われ、鉄道ファンや家族連れでにぎわいました。

日野町からは、日野観光協会が特産品を販売され、日野菜漬けやどっちようかんが人気で、完売していました。

また、八日市駅や日野駅などで謎解きをするクイズラリーが行われました。過去に西武鉄道で活躍した車両をイメージした臨時電車に乗ってたくさんの方が日野駅や日野駅鉄道ミュージアムに訪れていました。



2年ぶりの開催

## ブルームの丘×立命館大学 商品開発プロジェクト始動

6月19日(土)、ブルームの丘と立命館大学食マネジメント学部が連携し、商品開発をスタートされました。

立命館大学の学生19名が参加され、学生の視点をいかして、ブルームの丘で飼育するジャージー牛から搾った牛乳を活用した乳製品や町の特産品、地域資源を活用した商品開発を進め、令和4年3月に商品化することをめざして取り組まれます。

今後は、町内でフィールドワークを行い、歴史や文化に触れながら町の魅力を発見し、商品開発に取り組みます。

参加された学生は、「日野町といえばこれ、と言っていただけのような商品を開発したいです」と話してくださいませました。

学生の視点に期待





## 楽しい旬の話題をお知らせください

身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（役場3階 ☎0748-52-6550）までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!



古き良きものをいかにして  
**「野口写真館保存会」の活動**

芸術写真のパイオニアと言われる野口清輝くろちかよてるさんの創作の場であった、旧野口写真館（大窪）を活用するために、町内の若者有志などが「野口写真館保存会」を立ち上げ、毎週日曜日に活動されています。

会のメンバーは、多様な職業の方で構成されており、現場仕事に興味のある日野高校の生徒も参加されています。高校生は作業を体験しながら、地域の方と関われる場にもなっています。

代表の長則おさのり男さん（五月台）は「町内で飲食や販売などにチャレンジしたい人にレンタルスペースとして提供したいです。また町内の人との交流ができる場としても活用してほしい」と話してくださいました。

古き良きものを残したい

保存会では改修などに必要な費用の寄付を募集されています。問い合わせは長則男さんまで。☎080-131211-6259

逸話の根拠が示される

氏郷の魅力に迫る  
**企画展「蒲生氏郷物語」**

近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」で企画展「蒲生氏郷物語」が8月12日まで開催されています。

この企画展では、蒲生氏のあゆみ、氏郷の文武にわたる逸話などが写真パネルにより展示されています。

また、氏郷が残した多くの逸話の由来や根拠を全国から集められた資料により紹介されており、今回初公開の資料もあります。

日野町在住者は入館無料ですので、ぜひご覧になってください。

また氏郷の歴史や伝説をまとめた『蒲生氏郷伝説』（振角卓哉著）も6月末に刊行されました。



みんなで協力して災害時に備える  
**南比都佐防災通学合宿**

南比都佐地区通学合宿実行委員会が、6月24日（木）から26日（土）に、南比都佐小学校5、6年生を対象にした防災通学合宿を実施されました。

防災通学合宿とは、子ども達が地域の人々の協力のもと公民館で寝泊まりし、防災についての学習や、身の回りのことを自分たちの力で行いながら学校に通う体験活動です。

防災の学習では、防災士の方から避難所での集団生活についての講義や、体育館でテント型パーテーションを使った就寝場所作り、ポスター作り、災害時に役立つ防災グッズ作りなどが行われました。

子ども達は地域の方や各団体の関係者に見守られて、集団生活の中で多くの事を学ばれました。

災害時の就寝場所づくり

